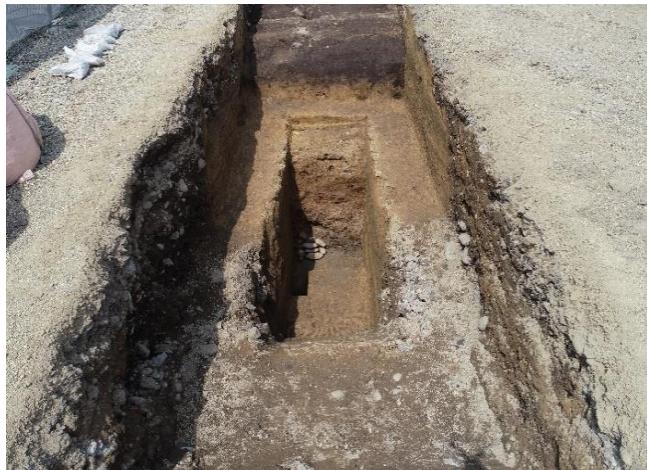


調査区⑤の調査成果



堀（東から）



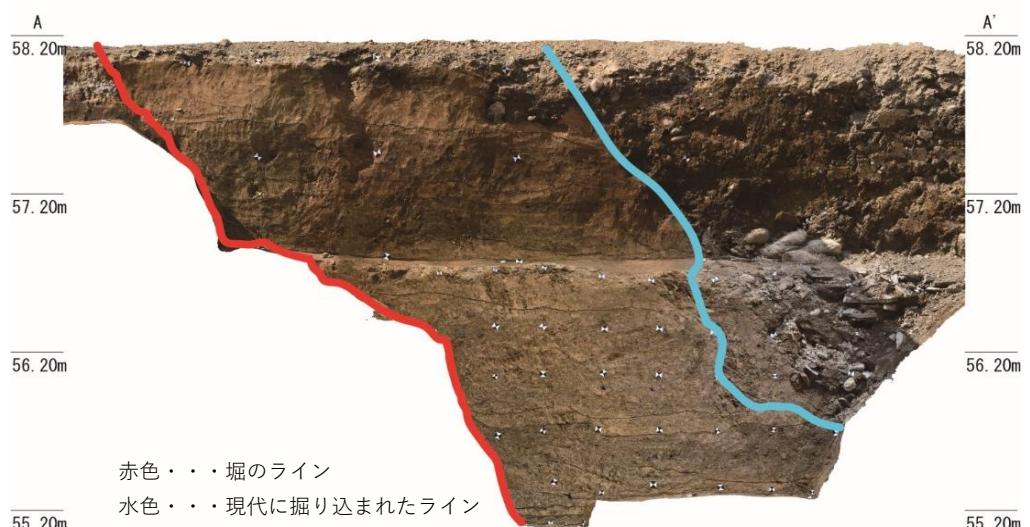
犬走り状の平坦面と玉石の石積み



玉石の石積み（上側）



玉石の石積み（下側）

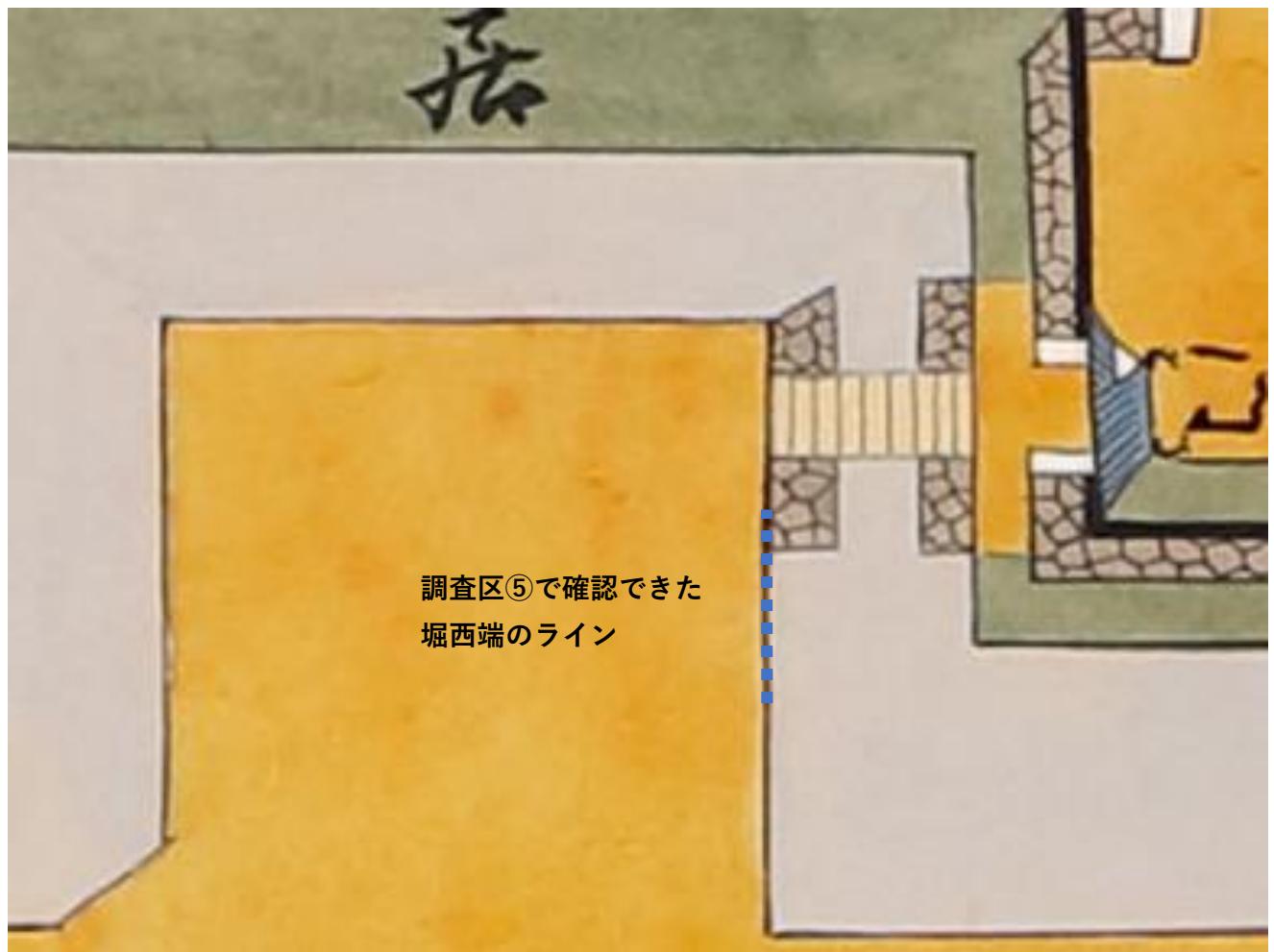


※ オルソ画像（作成：株式会社イビソク）

通常、写真はレンズの特性から中心から外側へ向かうに従って歪みが生じますが、
その歪みを補正した画像をオルソ画像といいます。

調査区⑤まとめ

- ・ 調査区⑤では、堀の西端を確認することができました（破線箇所）。安全のため堀底までは確認していませんが、堀の深さは少なくとも3.5m以上であることがわかりました。
- ・ 堀の斜面は単純な傾斜ではなく、途中に犬走り状の平坦面が確認できました。
また、堀の斜面の際に玉石による石積みが部分的に確認できました。
- ・ 堀の西側では、江戸時代以前にさかのぼる明確な遺構は確認されませんでした。



犬山城修復願雛形絵図 安永9年（1780）犬山城白帝文庫蔵